

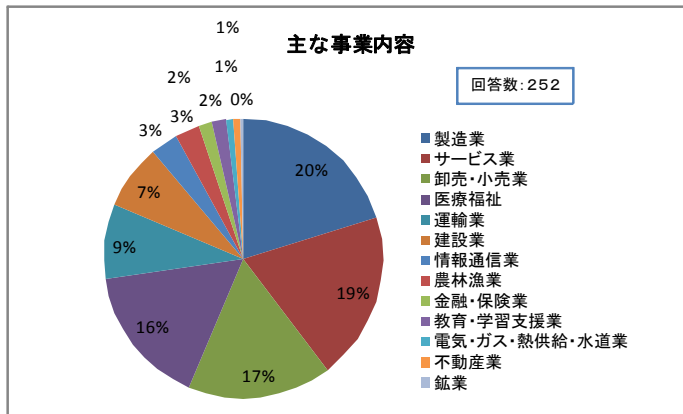
新型インフルエンザ対策に関するアンケート調査

調査要領

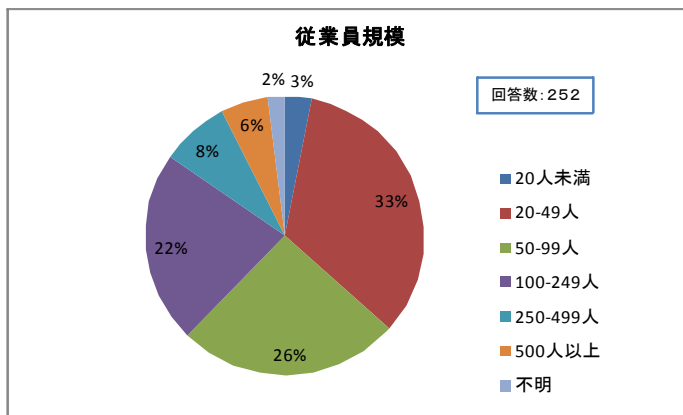
1. 調査名称: 新型インフルエンザ対策に関するアンケート調査
2. 調査方法: 質問紙郵送法
3. 調査対象: 高知県全域の従業者規模20人以上の民営事業所400社
4. 回答総数: 252社 回答率: 63%
5. 調査期間: 2009年10月～11月

調査結果

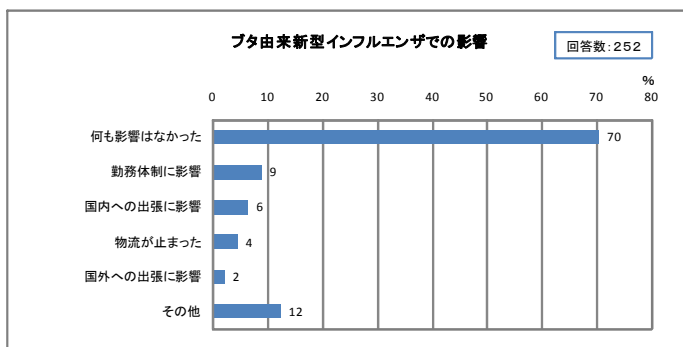
Q1 貴社の所属する主たる業種はどれですか。



Q2 貴社の従業員数(パート、アルバイト等と含む)は何人ですか。

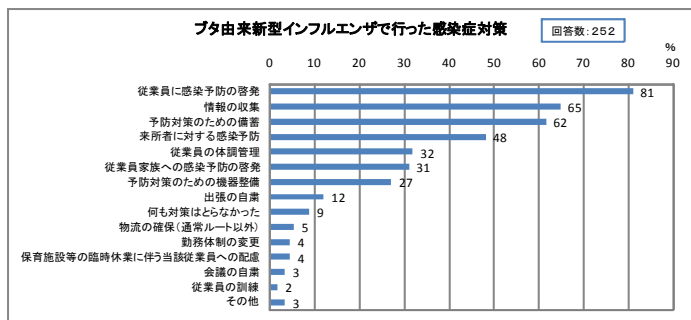


Q3 今回のブタ由来新型インフルエンザ発生で、貴社に影響はありましたか。(重複回答)



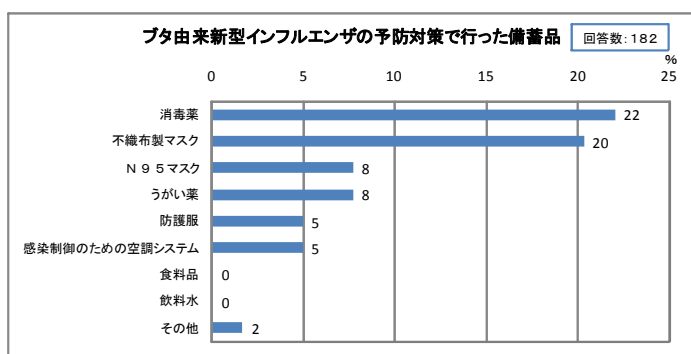
今回の新型インフルエンザ発生では70%の企業が影響が無かったと回答した。一方、勤務体制(9%)、国内への出張(6%)等に影響がでた企業があった。

Q4 今回のブタ由来新型インフルエンザで感染症対策をとりましたか。(重複回答)



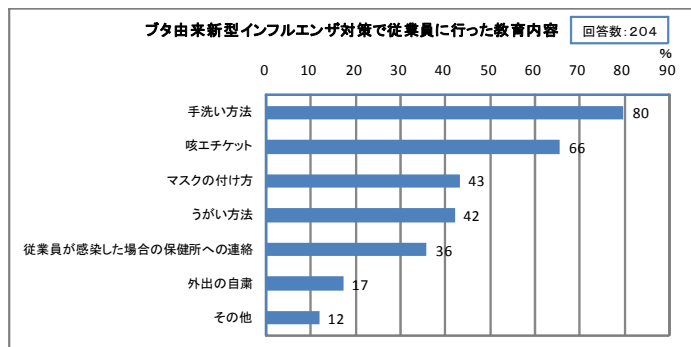
新型インフルエンザ発生後に企業でとった対策としては、従業員に感染予防の啓発81%、情報の収集65%、予防対策のための備蓄62%の順で高かった。逆に何も対策はとらなかったと回答した企業は9%で、ほとんどの企業がなんらかの対策をとったことが伺える。

Q5 Q4で「予防対策のための備蓄」「予防対策のための機器整備」とお答えの企業にお伺いします。貴社で購入した備蓄品は何ですか。(重複回答)



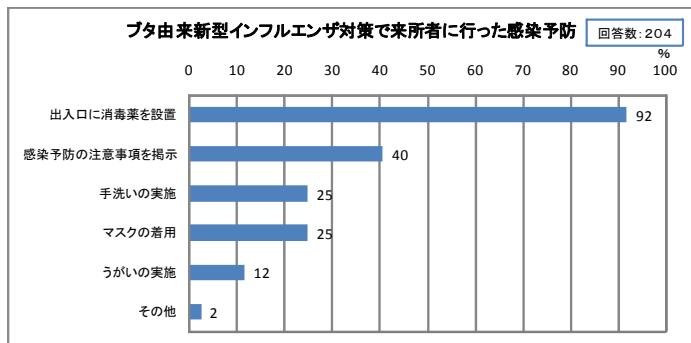
予防対策として購入した備蓄品は、消毒薬(22%)、不織布製マスク(20%)が多かった。

Q6 Q4で「従業員に感染症予防の啓発」とお答えの企業にお伺いします。貴社で行った教育内容は何ですか。(重複回答)



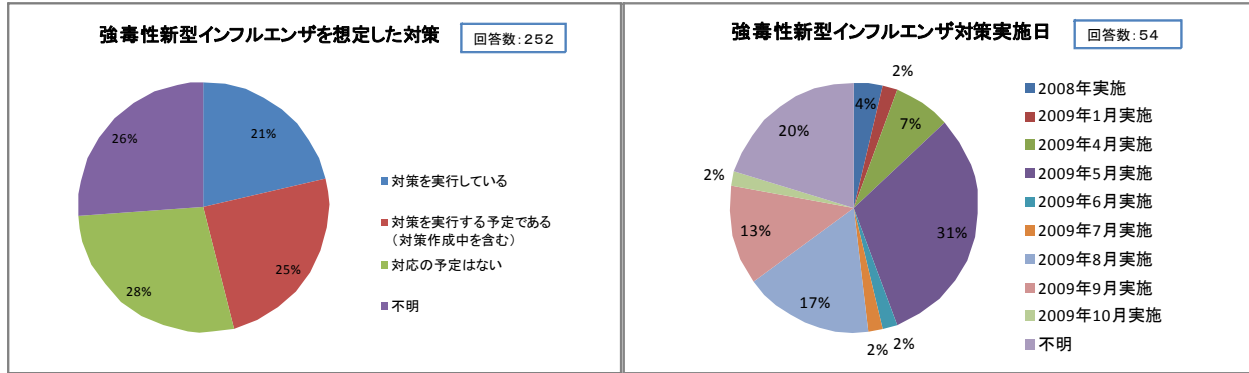
従業員に行った啓発の内容で多かったものは、手洗い方法80%、咳エチケット66%であった。

Q7 Q4で「来所者に対する感染症予防」とお答えの企業にお伺いします。貴社で行った感染予防は何ですか。(重複回答)



来所者に行った感染予防では、出入口に消毒薬を設置した企業が92%と突出して多かった。

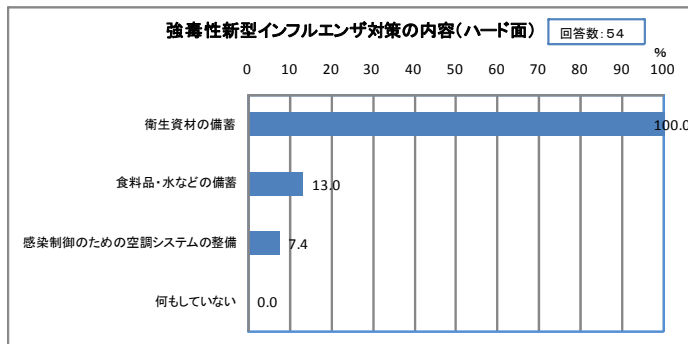
Q8 貴社では強毒性新型インフルエンザを想定した感染症対策を行っていますか。また、「対策を実行している」場合は実施日を記載してください。



対策を実行している企業は21%であった。そのうち2009年5月に実施しはじめた企業が31%あり、新型インフルエンザが発生したため急いで対策をたてたことが伺える。また、今回の新型インフルエンザ発生以前に事前から対策をたてていた企業は13%であった。

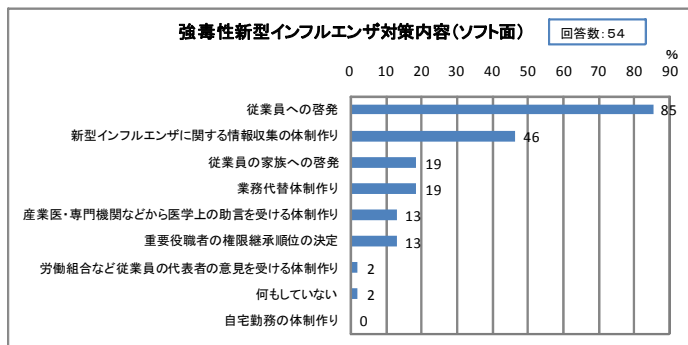
Q9 Q8で「対策を実行している」とお答えの企業にお伺いします。貴社の強毒性新型インフルエンザ対策に含まれている内容をお教えてください。(重複回答)

[ハード面の事前対策]



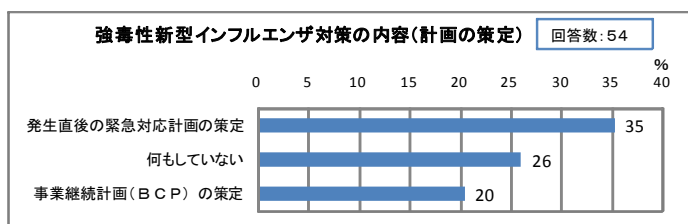
対策を実行しているまたは予定している企業の100%で衛生資材の備蓄を行っていた。

[ソフト面の事前対策]



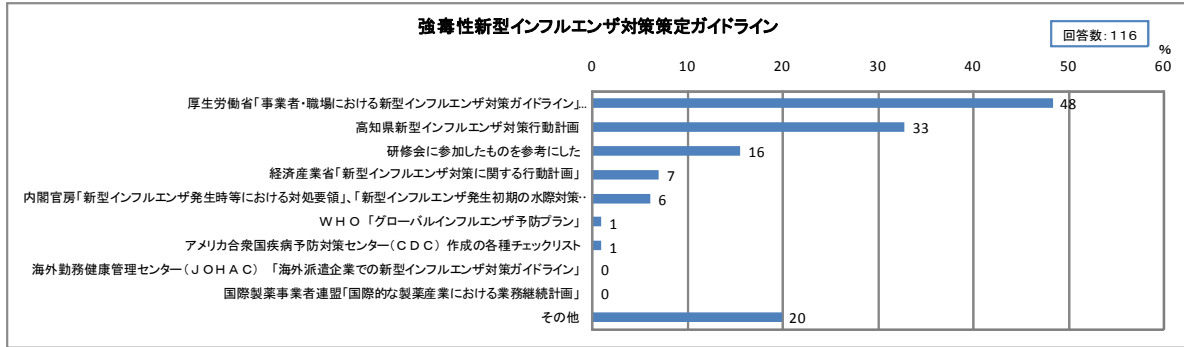
従業員への啓発を行ったところが多(85%)、ついで新型インフルエンザに関する情報収集の体制作り(46%)であった。

[計画の策定]



強毒性新型インフルエンザ対策を実行している企業(21%)のうち、緊急対応計画の策定をしているのは35%、事業維持計画を策定している企業は20%であった。

Q10 貴社の強毒性新型インフルエンザ対策を策定するにあたり、どのガイドライン等を参考にしましたか。
(重複回答)



厚生労働省が作成したガイドラインを参考にしている企業が最も多く(48%)、ついで多かったのが高知県新型インフルエンザ対策行動計画(33%)であった。

Q11 Q8で「対応の予定はない」とお答えの企業にお伺いします。貴社が強毒性新型インフルエンザを想定した感染症対策の予定がない理由は何ですか。(重複回答)

